

2022年度

教学IRセミナー

～ リサーチクエスチョンの作り方・アンケート調査のポイント ～

データを分析したりアンケート調査をするときは、やみくもに分析したり、思いつきで調査項目を作るのではなく、『**リサーチクエスチョン（研究や調査上の問い）**』を適切に作る**ことが大切です！！**

これまで「リサーチクエスチョンってどのように作るの？」「良いアンケートを作るにはどうすればよいの？」といった声があったことから、今年度の教学IRセミナーは『リサーチクエスチョンの作り方』と『アンケート調査のポイント』をテーマにオンデマンド形式で実施します。教学IR推進室へ分析依頼するケースも含め、各部署・部局のアセスメント活動や教育改善のための分析などの際に役立つ内容です。是非ご覧ください！！

※セミナー動画に掲載期限はないので、いつでも必要に応じてご利用いただけます！



視聴方法（オンライン）

セミナー動画へのリンクは教学IR推進室Webサイトに掲載しています。
（左記QRコード又は<https://www.comp.tmu.ac.jp/edir/activities/>からアクセスできます。）

※セミナー動画自体は法人SharePoint上からの視聴となります。

Video

Part1 リサーチクエスチョンの作り方

現状分析からスタートする (10 min 12 sec)

- リサーチクエスチョンの重要性
- 現状分析の出発点
- 解決法と必要なデータ
- リサーチクエスチョンとしてまとめる

データマイニングからスタートする (7 min 56 sec)

- データマイニングの出発点
- 使うデータ範囲と出力を決める
- RQとするために：機能からまとめる
- リサーチクエスチョンとしてまとめる
- 教学IRシステムを確認

仮説の議論からスタートする (9 min 47 sec)

- 仮説検証のメリット
- 議論の出発点
- 仮説の立て方1. ウイル・オア・チョイス
- 仮説の立て方2. リニアモデル
- リサーチクエスチョンとしてまとめる

リサーチクエスチョンの候補ができれば (8 min 35 sec)

- 教学IR推進室への依頼：5つのポイント
- 事前の相談
- 分析の依頼
- 締切明示・出来上がリイメージ
- 思わぬ結果への対応

Video

Part2 アンケート調査のポイント

調査結果の見方 (9 min 44 sec)

- 目の付け所
- 目の付け所1. アンケート自体
- 目の付け所2. 分析過程
- 目の付け所3. 可視化
- 「こんな分析もできるのでは？」という視点

既存のアンケートを改善する (12 min 00 sec)

- 既存のアンケートを修正する
- 実施方法の修正
- 質問方法の修正
- 自由記述の可能性と問題点

新しいアンケートを作る (13 min 23 sec)

- アンケート作成は「逆向き設計」で
- 何を調べるか
- どの程度調べるか
- どのように調べるか
- 最後に個々の質問項目をチェック